ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

採用面：消費度と満足度を測定

１．消費分析

コンポーネント使用状況

- [ ] 最も頻繁に使用されるコンポーネントを追跡する。
- [ ] 最も使用頻度の低い、または不要なコンポーネントを特定する。
- [ ] 使用されていないコンポーネントを削除または再設計するかを判断する。
- [ ] コンポーネント使用状況の傾向を長期間監視する。(月次、週次、日次)

チーム間の利用状況

- [ ] すべてのチームがデザインシステムを利用していることを確認する。
- [ ] デザインシステムを使用していないチームまたはアプリケーションを特定する。
- [ ] デザインシステムがさまざまなアプリケーションのタイプに対応しているかを評価する。(社内業務アプリ、公開ウェブサイト、モバイルアプリケーション)
- [ ] チームがデザインシステム外でカスタムコンポーネントを作成しているかを検出する。

ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

デザイン・開発の一貫性

- [ ] デザインコンポーネント（Figma、Sketch）と本番環境で開発されたコンポーネントを比較する。
- [ ] デザインバージョンと開発バージョン間の不一致を特定する。
- [ ] アプリケーション全体のインターフェースの一貫性を評価する。
- [ ] 時間、予算、またはコミュニケーションギャップが不一致の原因となっているかを確認する。

組織理解

- [ ] デザインシステムが内部コミュニケーションを改善しているかを測定する。
- [ ] ブランドガイドラインとリソースにアクセスしている技術者以外の同僚を追跡する。
- [ ] デザインシステムがデザインおよび開発分野の理解を向上させているかを評価する。
- [ ] 組織リソース（PowerPointテンプレート、メール署名）のダウンロードを監視する。

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

追跡する消費指標

- [ ] 月当たり（または週・日当たり）に消費されるコンポーネントの数
- [ ] 消費アプリケーションの数
- [ ] 消費デザイナーの数
- [ ] 消費開発者の数
- [ ] デザインシステムドキュメントプラットフォームへの訪問数

２．満足度評価

ユーザー価値と評価

- [ ] デザインシステムがユーザーにとって有用であることを確認する。
- [ ] 作業を容易にし、ユーザー体験に集中できるようにすることを検証する。
- [ ] ユーザーが標準化された要素によって創造性に制約を感じているかを特定する。
- [ ] ユーザーがシステムコンポーネントを回避して独自のものを作成するリスクを評価する。

ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

貢献プロセスの有効性

- [ ] 新しいコンポーネントをリクエストするプロセスが効率的かどうかを評価する。
- [ ] 納期が許容範囲内かどうかを測定する。
- [ ] 納品されたコンポーネントが初期要件と一致しているかを確認する。
- [ ] 専用デザインシステムチームへのチームの依存度を評価する。

追跡する満足度指標

- [ ] 定期的にユーザーインタビューを実施する。
- [ ] 定義された間隔で満足度調査を送信する。
- [ ] Net Promoter Score（NPS、ユーザーがデザインシステムを同僚に推奨する可能性）を測定する。

次項：**進行面**

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

進行面：構築と保守の監視

１．コンポーネント開発

コンポーネント作成率

- [ ] 新しいコンポーネントがいくつ作成されたかを追跡する。
- [ ] 新しいコンポーネントの作成に必要な時間を測定する。
- [ ] すべてのコンポーネントが適切にドキュメント化されていることを確認する。
- [ ] 不要なコンポーネントを避けるために、作成率と消費データを相互参照する。

コンポーネントの完全性

- [ ] デザイナー向けにグラフィカルコンポーネントが存在することを確認する。（Figma、Sketchなど）
- [ ] 開発者向けに開発されたバージョンが存在することを確認する。
- [ ] コンポーネントが必要なすべてのテクノロジーで利用可能であることを確認する。（React、Angularなど）
- [ ] 両方のバージョンに適切なドキュメントが付随していることを確認する。

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

貢献活動

- [ ] 新しいコンポーネントリクエストの頻度を監視する。
- [ ] 包括的なコンポーネントライブラリがある場合でも、貢献リクエストを追跡する。
- [ ] 貢献リクエストの欠如が採用面の問題を示しているかを確認する。

更新プロセスの効率性

- [ ] デザインシステムの更新の容易さを評価する。
- [ ] 明確な更新プロセスがリリース時に定義されていたことを確認する。
- [ ] プロセスが健全なシステム開発を促進しているかを評価する。

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

2．品質とコミュニケーション

バグ管理

- [ ] 報告されたバグの数を追跡する。
- [ ] バグが対処されているかどうかを監視する。
- [ ] システムの成熟度に対するバグの傾向を評価する。
- [ ] バグ数が時間の経過とともに減少していることを確認する。
- [ ] バグ解決時間を測定し、また短縮されていることを確認する。

コミュニケーションインフラストラクチャ

- [ ] デザインシステム専用のコミュニケーションチャネルが存在することを確認する。
- [ ] 消費チームが実装チームに簡単に連絡できることを確認する。
- [ ] ユーザーが効果的に質問できるかを評価する。
- [ ] システムデザイナーが進化の更新を伝えることができるかを評価する。

ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

追跡する進行指標

コンポーネント追跡

- [ ] Figmaなどのツールを使用してコンポーネントの進化を追跡する。
- [ ] 専用の追跡ボードを実装する。（例：Jira）
- [ ] コンポーネントごとにチケットを含む専用のバックログを作成する。
- [ ] コンポーネントをフェーズごとに追跡する：リクエスト → 作成 → 開発 → テスト → ドキュメント → デリバリー

定量的指標

- [ ] 単純なコンポーネントを設計するための平均時間
- [ ] 消費アプリケーションの数
- [ ] 月当たりの貢献数（新しいコンポーネントリクエスト）
- [ ] 貢献の前年比進捗
- [ ] 生成されたバグの数
- [ ] 処理されたバグの数
- [ ] 専用バグ追跡および解決ボード指標

次項：**パフォーマンス面** →

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

パフォーマンス面：生産価値の実証

１．生産効率

時間短縮

- [ ] ステークホルダーの賛同を得るために、デザインシステムのリリース前に生産時間の節約を見積もる。
- [ ] デザインシステムなしで画面を設計する時間と、デザインシステムありで設計する時間を比較する。
- [ ] シンプルなコンポーネントを含む基本画面に費やす時間を評価する。
- [ ] 進化を必要とするコンポーネントを含む複雑な画面に費やす時間を評価する。
- [ ] デザイナーごとの月当たりの平均完成画面数を計算する。
- [ ] デザイナー数で個人の生産性を掛けて、チームレベルの影響を算出する。

ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

品質改善

- [ ] バグ数が減少したかどうかを測定する。
- [ ] 生産品質が向上したかどうかを評価する。
- [ ] 蓄積されたグラフィカル負債の削減を評価する。
- [ ] 技術的負債の削減を追跡する。
- [ ] 時代遅れ、または保守が困難なテクノロジーに関連するバグを監視する。

オンボーディング効率性

- [ ] 新しいデザイナーのオンボーディング時間を測定する。
- [ ] 新しい開発者のオンボーディング時間を測定する。
- [ ] 集中化されたリソースとドキュメントがトレーニング時間を短縮するかを評価する。
- [ ] 新しいチームメンバーの生産性立ち上がり時間を追跡する。

イノベーション速度

- [ ] 設計およびリリースされたMVP（Minimum Viable Product、最小限の実用的な製品）の数を監視する。
- [ ] 迅速なコンポーネントの利用可能性がMVP構想を促進するかを評価する。
- [ ] デザインシステムがより速い実験を可能にするかを評価する。

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

２．追跡するパフォーマンス指標

時間ベースの指標

- [ ] デザインシステムなしの基本画面とデザインシステムありの基本画面にかかる時間
- [ ] デザイナーあたりの月間平均完成画面数
- [ ] チーム全体の画面生産能力

生産性指標

- [ ] 月当たりに完了したタスク・チケット・ポイントの数
- [ ] デザインシステムの成熟度に伴い生産が増加するかを追跡する
- [ ] 時間経過に伴う速度の傾向を監視する

品質指標

- [ ] 本番環境で生成されたバグの数
- [ ] 時間経過に伴うバグ率の傾向
- [ ] **製品のNPS（Net Promoter Score）**

ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

コンテキスト評価

測定を実装する前に、特定のコンテキストを評価してください：

システムスコープ

- [ ] デザインシステムを使用しているアプリケーションの数
- [ ] エンドユーザーのタイプ（社内従業員、外部顧客、パートナー）
- [ ] 使用中のテクノロジー（React、Angular、その他のフレームワーク）
- [ ] サポートするデバイス（デスクトップ、モバイル、タブレット、その他）

組織の準備度

- [ ] ガバナンスモデルが定義されている
- [ ] 専用チームリソースが割り当てられている
- [ ] 部門横断的な連携が確立されている（技術、プロダクト、デザインチーム）
- [ ] 進化と保守のプロセスが計画されている
- [ ] ステークホルダーエンゲージメントが確保されている

ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

測定の優先順位付け

- [ ] コンテキストに最も関連する指標を決定する。
- [ ] リリース時にベースライン測定を確立する。
- [ ] 測定頻度とレビュー頻度を定義する。
- [ ] 追跡とレポートの責任を割り当てる。
- [ ] ダッシュボードまたはレポートメカニズムを作成する。

ekino.

サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

重要な成功要因

コンテキストに関係なく、これらの基礎的な要素が整っていることを確認してください：

- [ ] **採用測定が優先されている：** 採用がなければ、技術的に優れたシステムでも失敗する。
- [ ] **ユーザーが最初から関与している：** ユーザーのニーズとコンテキストを理解することで、関連する指標が決定される。
- [ ] **システムは生き物として扱う：** 継続的なケア、供給、進化が必要である。
- [ ] **投資は実証する節約によって正当化する：** パフォーマンス指標は、システムコストと生産価値を結びつける。
- [ ] **ガバナンスが持続可能性を保証する：** 明確な所有権、プロセス、専用リソースが放棄を防ぐ。
- [ ] **測定はリリース時に始まる：** ベースラインデータと一貫した追跡により、意味のある進捗評価が可能になる。

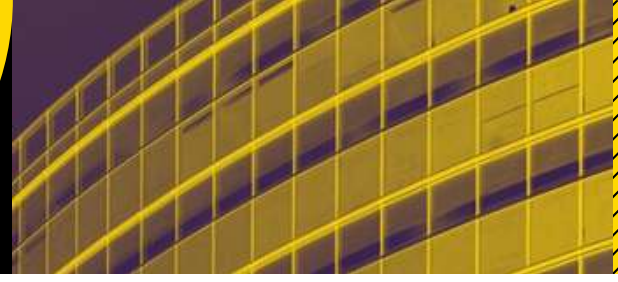
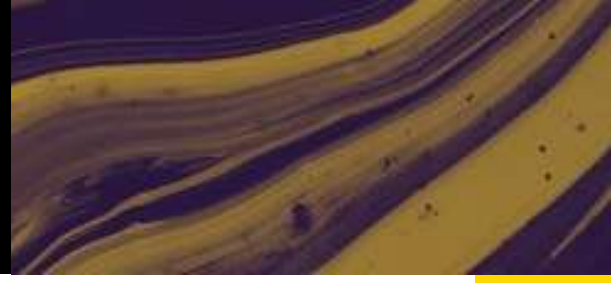
サービスデザイン準備度のチェックリスト

対象： 製品・CXリード

目標： サービスデザインシステムに投資する前に準備を保証する

レビュー頻度の推奨:

- **採用指標：** 月次
- **進行指標：** スプリントごと（隔週または月次）
- **パフォーマンス指標：** 四半期ごと、年次包括的レビュー付き
- **満足度調査：** 四半期ごと
- **ユーザーインタビュー：** 継続的（異なるユーザーグループをローテーション）

準備できました!

このチェックリストにより、デザインシステムの実装が真に有意義かつ効果的なものになることを確信できます。

チェックリストから実現へ

デザインシステムと専門的なサポートでアプリ開発を強化しませんか? わたしたちのデザイナー、開発者、戦略家のチームがお手伝いします。

ekino - Serious Tech for Business

メールでのお問い合わせ：hello@ekino.vn

ウェブサイトをご覧ください： www.ekino.vn

ekino.